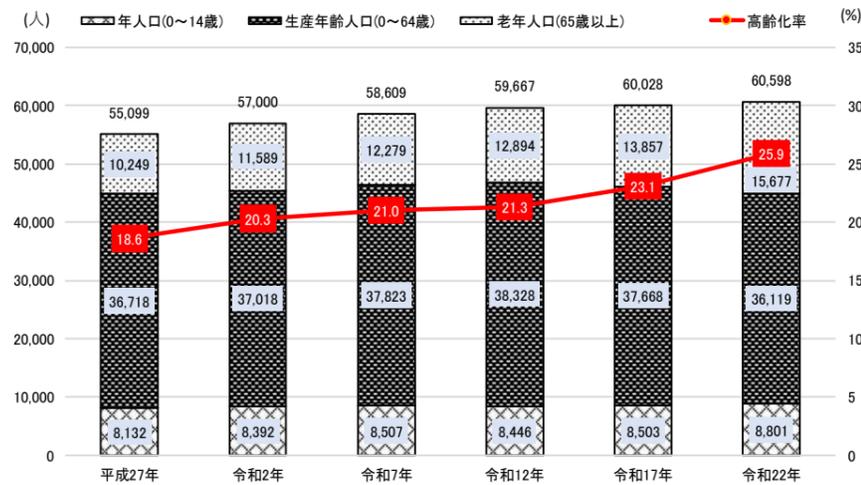


## 1 将来の人口

- 『第2期ののいち創生長期ビジョン』では、野々市市の人口は令和17年には60,028人となると見込んでいます。
- この人口を達成するためには、魅力的なまちづくりにより移住・定住化を促進していくほか、出生率の維持・向上につながる環境整備に取り組んでいくことが必要です。

野々市市の年齢階級別将来推計人口



(資料)野々市市「第2期ののいち創生長期ビジョン」

## 2 土地利用

(土地利用については、野々市市の特徴や社会の動向を踏まえ「コンパクトなまちづくり」を進めるという考えのもと、令和3年度に改定予定の都市計画マスタープランとの整合を図り、総合計画に記載します。)

今後、掲載する土地利用構想図を検討

## 3 将来都市像 (今後10年のまちづくりのあり方、10年後に実現したい野々市市の姿)

# かがやき無限大 みんなでつくる インパクトシティののいち

『インパクトシティ』は、様々な魅力が市の中に入っている = i n (イン)、インパクトを多くの人に与える可能性を持っている = インパクト、県内一面積が小さいまち = コンパクトシティ などの意味を有しています。

暮らしに必要な機能や、数々の大学、歴史や文化を感じさせるまちなみなど、様々な魅力がコンパクトな市域に入っています。この魅力は、市民みんなで磨いていくことで、さらに輝きを増し、市内外の人に大きなインパクトを与えられる、無限の可能性を持っています。

市民の力でコンパクトなまちの中に魅力が詰まった『インパクトシティ』にしていくことで、自分が野々市市民であることにプライドを持つことができ、ますますまちづくりに参加したくなるような、かがやきあふれる野々市市をめざします。

## 4 基本目標 (将来都市像の実現に向けた、分野ごとの大きな目標)

### 1. だれもがまちづくりの担い手となり、自信をもってアピールできるまち (市民生活)

- 市民一人ひとりがまちづくりの担い手として活躍できるよう、様々なチャレンジができる環境を整えます。
- 地域で支え合い、市民と行政が協働して地域の発展に取り組みます
- 野々市の魅力に市民が気づき、その魅力をアピールしていきます。
- これらを通じて、市民だれもが野々市に誇りや愛着を感じ、市民が住み続けたい、市外の人が住みたくなるまちをめざします。

### 2. 心のかよう福祉のまち (福祉・保健・医療)

- 市民どうしがつながり、困ったときはいつでも相談でき、互いに寄り添いながら、いきいきと誇りをもって暮らすことができる地域共生社会をつくりまします。
- 心と体の健康、必要に応じた医療・介護・生活への支援や出産・育児の支援などにより、住み慣れた人や新たに転入された人も健康に、安心して過ごせるまちをめざします。

### 3. みんなで取り組む安全・安心なまち (安全・安心)

- 市民が高い防災意識を持ち、地域ぐるみで助け合う「共助」による防災機能の向上を図ることで、災害に負けない安全・安心なまちをつくりまします。
- 交通安全対策や防犯活動などを通じて、市民が安心して安全に過ごせるまちづくりに取り組みまします。

### 4. 環境を考え、みんなで行動するまち (環境)

- 市民一人ひとりが地球環境問題に対する意識を高め、環境負荷の少ない循環型社会の構築に向けてごみの分別・削減や再生可能エネルギーの利用など具体的な取組を進めます。
- 公害の抑制や身近な自然である田園の環境を保全し、季節の彩りを身近に感じることができるまちづくりを進めます。

### 5. あらゆる世代が交流しながら、生涯にわたって学び、楽しめるまち (教育・生涯学習)

- 複数の大学がある野々市市の特長を生かし、まち全体をキャンパスに見立て、全ての市民が生涯にわたって学び、楽しめるまちをめざします。
- 世代を超えて交流しながら、様々な活動が行われ、生きがいや心の豊かさを実感できる地域社会をつくりまします。
- 学校教育では、家庭・地域・学校が一体となり子どもをサポートしつつ、大学との連携により広く知識を深め好奇心を育む機会を提供し、伸び伸びと自分らしく学ぶことができる「ののいちっ子」を育てまします。

### 6. みんなが働きたくなる、活気のあるまち (産業振興・地域振興)

- 新しいことを始めたい市民を応援し、若者の感性を活かした魅力のあるお店や仕事がたくさんできることや、野々市らしい特産品・製品などが数多く生み出されることで、市民はもちろん、出身者や市外の人を含めた様々な人が立ち寄りた、働きたいと思えるような活気のあるまちをめざします。
- リモートワークの増加など、働く環境が変化中、働きやすい環境の整備に取り組みまします。

### 7. 暮らし充実 快適がゆきとどくまち (都市基盤)

- 街並みと自然が調和した美しい景観と、のびのびと過ごせる公園があるまちの中で、バスや自転車などが便利に利用できることで、マイカーに頼り過ぎなくても安全・快適に移動でき、充実した暮らしが送れるコンパクトで快適なまちをめざします。

### 8. 多くの人に魅力が知られ、安心して長く暮らせる、市民みんなが支えるまち (行財政運営)

- 市の魅力を発信し、全国に野々市ファンを増やします。
- 開かれた市政において、だれもが利用しやすい行政サービスを提供し、市民と行政の信頼関係のもとで、幅広い世代、立場の市民によって支えられるまちをめざします。